



寒ぶなの缶詰  
グッドデザイン賞  
受賞について



グッドデザイン賞は、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨のしくみです。  
60年以上にわたり「Gマーク」とともに広く親しまれながら、  
デザインによって、暮らしや社会をよりよくしていくための活動をしています。



2024年は5,773件の審査対象から、  
全1,579が受賞した

- 01 身につけるもの
- 02 パーソナルケア用品
- 03 文具・ホビー
- 04 生活用品
- 05 生活家電
- 06 映像/音響機器
- 07 情報機器
- 08 産業/医療 機器設備
- 09 住宅設備
- 10 家具・オフィス/公共 機器設備
- 11 モビリティ
- 12 建築（戸建て住宅～小規模集合・共同住宅）
- 13 建築（中～大規模集合・共同住宅）
- 14 建築（産業/商業施設）
- 15 建築（公共施設）・土木・景観
- 16 メディア・コンテンツ
- 17 システム・サービス
- 18 地域の取り組み・活動
- 19 一般向けの取り組み・活動

## 寒ぶなの缶詰のあゆみ



伝統漁法を続けるために、三方五湖で捕れる魚を売る手助けをしたい

## 寒ぶなの缶詰のあゆみ



2021 3月に里研、鳥浜漁協組合長と共に若狭高校に缶詰づくりの相談に行く

2022 「三方五湖の持続可能な地域づくり連携事業」で商品開発

5月から販売開始

2024 缶詰の売り上げの一部を使って、農法部会認証米を保育園給食に提供。

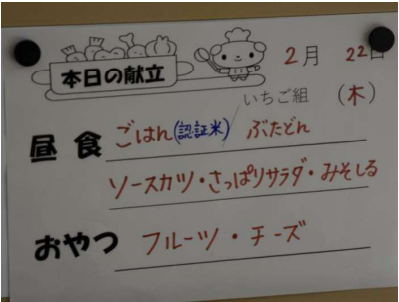
4月にしょうが味を販売開始

11月グッドデザイン賞受賞



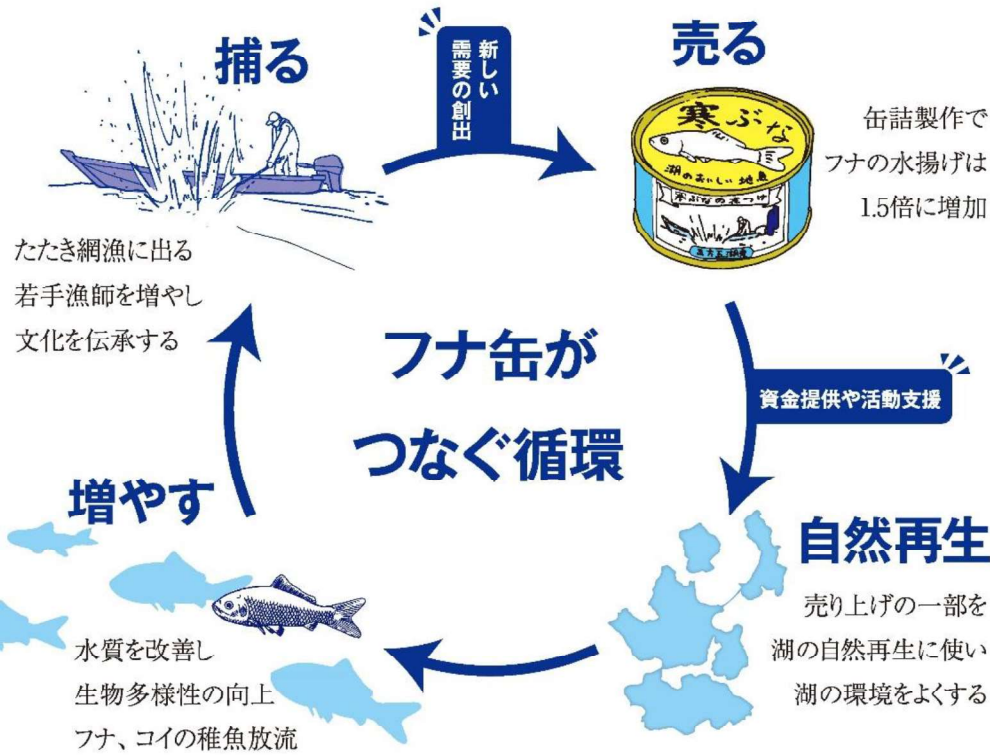


若狭町三宅保育所へ、認証米を提供



缶詰の販売社である（一社）SwitchSwitchさんの発案で、売り上げの一部を三方五胡の自然再生に活用。農法部会認証米を買い、保育所へ提供するとともに、園児や保護者に取り組みを説明した。

寒ぶなの缶詰がつなぎたい、関係性



開発当初

現在～

高校生とのつながり



2023年  
干しフナ



2024年  
コイのヘシコ

高校生とのつながり





## 高校生とのつながり

これはただの商品開発ではない。「フナ缶」プロジェクトは、地域資源の持続可能性を実現する好例である。

環境教育は大切なことだが、なかなか認知が広がらないことが多い中、商品開発を通じて、伝統漁法の継承や環境保全に寄与し、地域に活気をもたらす仕組みを構築している点は高く評価に値する。

特に漁師と高校生を巻き込み、多世代が関わることでプロジェクトの継続性を確保し、地域全体のエコシステムを形成していることが素晴らしい。

また、パッケージデザインも含め、プロジェクト全体が地域の魅力を押し付けずに伝えている点も秀逸であり、地域に密着した丁寧な取り組みに評価が集まった。